

会員向け新サービス「あたまの健康チェック®」（株式会社ミレニア提供）を開始  
就労環境での認知機能低下予防活動促進による労務リスク管理と離職防止を目指す

2018年2月6日  
公益財団法人大原記念労働科学研究所  
株式会社ミレニア

公益財団法人大原記念労働科学研究所（所在地：東京都渋谷区、所長：酒井一博、以下労研 <http://www.isl.or.jp/>）および株式会社ミレニア（所在地：東京都中央区、代表取締役：宮田昭一、以下ミレニア <http://www.millennia-corporation.jp/>）は、労研の会員制度（維持会）の会員向け新サービスとして、ミレニアの提供する認知機能検査「あたまの健康チェック®」受検に関して提携契約を締結しました。本サービスは2018年4月より提供を開始します。

労研は、就労環境での認知機能低下予防活動の推奨による労務リスク管理と離職防止を目指して、軽度認知障害（Mild Cognitive Impairment、以下MCI）に関する理解を促すとともに、維持会員に対し定期的な「あたまの健康チェック®」の受検機会を提供し、ミレニアがサービスの販売・提供を行います。なお、4月に東京・大阪にて本件に関するセミナーを開催する予定です。

#### <背景>

厚生労働省によると国内の認知症人口は、2012年時点で462万人、2025年には700万人に達し、高齢者の5人に1人の割合となることが推計されています。認知症にはMCIという前駆段階があるとされ、その人口は2012年時点でやはり400万人推計されています。MCIのすべてが認知症になるわけではありませんが、この段階から積極的な予防活動がなされた場合、健全な認知機能に改善することができるとの研究報告もあり、早期にMCIの状態であることに気づき、適切な予防対策を取ることが推奨されています。

昨今産業界では、健康経営が注目され就労者の健康増進による将来的な生産性の向上を目指す動きが多く見られる一方、2025年に60歳代（認知症罹患率が高くなる）を迎える就労者への認知症予防に向けた情報提供や予防活動の機会を提供する体制整備は不十分であるのが現状です。また認知症は、介護が必要となった主たる原因第1位でもあり、今後働き世代である40-50歳代の管理世代において親の介護のための離職が一層増加することも懸念されています。

#### <効果>

健康者は、これまで一般的に自身の認知機能を検査する機会はありませんでした。

産業界において、就労者が自身の認知機能をチェックし認知症予防にかかる情報提供を受けた場合、以下のような効果が期待されます。

- 自身の認知機能を知る：予防に向けた活動への意欲向上  
認知機能検査の結果が良い場合には「良い状態を維持したい」、結果が思わしくない場合には「状態を改善したい」という心理が働くため、予防活動への強い行動変容が期待されます
- 就労者の知識と意識の向上  
認知機能低下のリスク要因や身近な予防活動を知ることによって日常で認知症予防を意識できる組織へ体制化するきっかけとなります
- 就労者の親世代への予防活動の普及： 介護離職予防  
就労者が親世代へ「あたまの健康チェック®」の受検推奨や予防にかかる情報を伝達することにより認知症の発症・重篤化の予防効果が大きく期待されます。これにより親世代の認知症介護のための、労使が

望まない「介護離職」を予防できることが期待できます

<事業内容>

1. 労研は、維持会員専用サイトで、就労環境での認知機能低下予防活動の推奨による労務リスク管理と離職防止を目指したサービスとして「あたまの健康チェック®」を会員向けに受検推奨するとともに、認知機能低下予防に関する情報提供を行います。
2. 労研の維持会員のうち「あたまの健康チェック®」の受検を希望する方は、維持会員専用サイトから「あたまの健康チェック®」購入サイトへ移動し、受検資格となる受検番号を維持会員優待価格で購入します。
3. 受検番号を購入した後に、専用フリーダイヤルを通じてオペレーターの指示に従い 10 分間質問に応答する方法でテストを受けます
4. 受検結果は、1 週間程度でご本人へ郵送されます
5. 労研の維持会員専用サイトでは、「あたまの健康チェック®」受検後に参照いただけるパンフレットの掲載に加え、会員企業で利活用できる対応体制の提案や広報資料の提供なども行います

<参照>

- 簡易認知機能スケール「あたまの健康チェック®」:

「あたまの健康チェック®」は、健常な方向けの認知機能チェックサービスです。

人口統計学的客観評価法を採用した独自アルゴリズムを用いて、これまで正確な評価の困難であった認知機能の「健常群～前臨床群～MCI 群」の領域における高精度な認知機能評価を実現しています。同スケールは、米国では FDA による新薬治験の際のアウトカムスケールのひとつとしても採用されており、国内でもすでに国立研究開発法人により運営される国民向け認知症予防プロジェクト IROOP（アイループ <https://www.iroop.jp/>）をはじめ、全国の地方自治体や医療機関などでも採用されています。

「あたまの健康チェック®」は、株式会社ミレニアの登録商標。

参考：Shankle WR, Romney AK, Hara J, et al. Method to improve the detection of mild cognitive impairment. PNAS. 2005; 02(13):4919-24.

- 軽度認知障害（MCI: Mild Cognitive Impairment）:

物忘れが主たる症状だが、日常生活への影響はほとんどなく、認知症とは診断できない状態。

（出典：厚生労働省生活習慣病予防のための健康情報サイト e-ヘルスネット掲載）

-----  
■ 本件に関する報道関係者からの問い合わせ先

公益財団法人 大原記念労働科学研究所

電話：03-6447-1435（事業部）受付時間：9:00～17:00）

E-mail： [isl.info@isl.or.jp](mailto:isl.info@isl.or.jp)

株式会社ミレニア（セントケアグループ）

電話：03-5695-3028（受付時間：9:30～17:30）

E-mail：[info@millennia-corporation.jp](mailto:info@millennia-corporation.jp)  
-----